

デジタル人材の類型化及び確保・育成に関する研究会概要

(事務局案)

2023年5月18日

第1回 デジタル人材の類型化及び確保・育成に関する研究会

(公財) 日本都市センター

概要の構成

1. 研究会の趣旨
2. 論点案
3. 調査研究の進め方
4. 成果物について

研究会の趣旨①

1. 都市自治体が求めるデジタル人材の類型化

① デジタル人材に必要な知識・経験の分析

スキル標準の再検討、類型化に必要な知識・経験、コアスキル・コアエクスペリエンスの分析 など

例：経済産業省がデジタルスキル標準を「DXリテラシー標準」「DX推進スキル標準」に分類・類型化(参考資料1)

「DXリテラシー標準」: 全てのビジネスパーソンが身につけるべき能力・スキルの標準

「DX推進スキル標準」: DXを推進する人材の役割や習得すべきスキルの標準

② 都市自治体が必要とするデジタル人材の検討

庁内のデジタル化を推進する人材、行政サービスを充実させる人材、都市自治体の課題に対応する人材の検討 など

例：総務省地域力創造グループ地域情報化企画室が管理している市区町村のデジタル人材募集情報の活用(参考資料2)

③ 都市自治体におけるデジタル人材活躍の場の検証

全庁的にデジタル化・DXを推進できる環境形成、庁外における知識・経験活用の検証 など

例：本研究会での報告(ゲストスピーカー含む)、ヒアリング調査での情報収集と報告

研究会の趣旨②

2. デジタル人材の確保方法

①外部組織からの調達

外部組織からの調達方法、デジタル人材の処遇、民間企業との獲得競争、人材不足対応の検討 など
例: デジタル人材の不足(約230万人)は民間企業でも死活問題(参考資料3)

②組織内部での調達

庁内での育成・調達、類型化したデジタル人材の配置方法、適材適所の調達方法の検討 など
例: 東京都では「ICT職」「高度専門人材」「リスキング人材」に分類(参考資料4)

③地域の特性に沿った確保方法

東京圏以外の都市自治体のデジタル人材確保、大学・民間企業以外からの人材確保の検討 など
例: IT技術者の約6割が東京圏に集中(参考資料3)、産官学の連携が難しい地域も存在

研究会の趣旨③

3. デジタル人材の育成方法

①新卒者採用の育成とその取組み

採用後の育成方法、研修とリテラシー向上の取組み、配属先でのデジタル活用方法の検討 など

例：つくば市「データ利活用研修」、広島市「DX人材」育成教材の開発・活用(参考資料5)

②社会人経験者採用の育成とその取組み

都市自治体職員としての育成方法、庁内外での人材交流、既存知識・経験の維持・向上の検討 など

例：2018年度設置「人材確保と連携研究会」(座長：工藤裕子)では社会人経験者の「上がり意識」に言及

③育成方法とロールモデルの創出

適正な育成方法、効果的な研修制度、ロールモデルの普及方法の検討 など

例：内在型デジタル人材と外在型デジタル人材のロールモデル創出

④地域の特性に沿った育成方法

任期付き雇用を前提とした育成方法、終身雇用を前提とした育成方法の検討 など

論点案

(1) 都市自治体が取り組むデジタル人材確保・育成の意義(論点1)

- ・都市自治体の現状と課題
- ・都市自治体と市民による共通目的の形成
- ・デジタル人材の類型化と確保・育成

(2) 都市自治体におけるデジタル人材とデジタル化・DX政策に関する検討(論点2)

- ・地域のデジタル人材確保・育成政策に係る現状把握及び市民・民間企業との将来像の共有
- ・デジタル人材の位置づけ、都市自治体のニーズ・資源等の活用方法
- ・産官学の連携と相互支援の現状と課題
- ・都市自治体の体制(組織・人材・専門性・自治体連携・役割分担)

(3) 近未来の都市自治体とデジタル人材のあり方(論点3)

- ・デジタル人材確保・育成政策の立案・展開の方向性
- ・都市自治体の特徴(規模・産業・文化・歴史等)に応じた政策展開
- ・デジタル社会と都市自治体・市民を繋ぐ担い手

調査手法・成果物

【調査手法】

①研究会での意見交換

- ・研究会委員からの話題提供（第2回：家中委員・壇委員）
（第3回：木野委員・松岡委員）
- ・ゲストスピーカーの招へい（第4回以降）

②先進自治体・関係機関等へのヒアリング調査（第3回以降）

【成果物】

本調査研究の成果をまとめ、2025年3月に報告書を刊行予定
機関誌41号（2024年3月刊行）において中間報告を予定
その他、弊センターHP内で研究会の進捗状況を掲載予定

スケジュール(案)

日程	事項	内容
2023年5月18日(木)	第1回研究会	顔合わせ、研究会の進め方、論点整理
7月	第2回研究会	委員からの話題提供①、ヒアリング調査先検討、ゲストスピーカーの検討
9月	第3回研究会	委員からの話題提供②、ヒアリング調査先検討、ゲストスピーカーの検討
12月	第4回研究会	ゲストスピーカーからの話題提供、ヒアリング調査報告①
2024年3月	第5回研究会	事務局からの話題提供、論点整理、ヒアリング調査先検討
5月	第6回研究会	ヒアリング調査先検討
7月	第7回研究会	ヒアリング調査報告②、報告書の全体構成・執筆分担の検討
9月	第8回研究会	報告書の全体構成・執筆分担の決定
12月	第9回(最終)研究会	報告書原稿読み合わせ
2025年1月	原稿締切り	
3月	報告書刊行	